

登山とボランティア

4期 佐藤秀紀

はじめに

大学でワンゲルに入った経験が私にとっては人生に大きな多くの素晴らしい道筋を作ってくれたと、84歳になった今でも、感謝している。

その一つがボランティアとの結びつきである。

「登山」と「ボランティア」は一見何のつながりもないように思われるが、私にとっては大いにつながっているのである。今回はそれについて記してみたい。

また、ボランティアについては最近は災害ボランティアンなどにも多くの人が集まるようになり言葉や活動も知られるようになってきた。

ボランティアについては、有名な女優であり、後年UNICEF 親善大使でもあったオードリー・ヘプバーンの言葉として、「人は両手を持っているが、それは一つは自分のために、もう片方は他人のために使うためにある」というのがある。

いずれにしろ、我々は多くの人々に支えられて生きているのであり、自分もできるだけ他人を支えていきたいものである。そして、支え合うことが、それぞれの喜びともなり、生きがいともなるのである。

登山とボランティア

以下に、私が経験した山とのかかわりのあるボランティアの体験を記してみたい。

私は金沢大学に41年も教員として勤務し、2006年65歳で定年退職した。ボランティア活動は退職以降のことである。

(1) 赤い靴ひもの会



ある知人の紹介で、石川県のがん患者の登山支援ボランティアの会：「赤い靴ひもの会」に2007年、役員として入会した。会では、主に県立病院でがん治療を

された山登りの好きな方々と共に、原則月1回、北陸3県の山々を日帰りで登る行事を行っていた。また夏には1泊泊りで白山にも登っている。2018年まで10年以上も入会していたが、諸般の事情で退会した。多くの山登りを体験をし、良き仲間とのつながりができる。今でもお付き合いをしている方もいる。

(2) 石川県自然解説員研究会



登山、特に白山に何度も登っている間に、多くの可憐な花に出会いすることが重なり、次第に花に魅せられた。65歳で退職して時間が取れるようになったのを機会に、もっと花の勉強をしたいことや、長年登山でお世話になった白山へのお返しをしたいと思って、2008年に入会を申し込みだ。同会は、石川県内の各所で、主に植物の自然観察会を開催しており、特に白山では夏の1ヶ月、白山室堂および南竜山荘を中心に登山者への高山植物解説などを毎年実施している。担当者は7月中半から8月中半までの1ヶ月、交代で2泊3日泊まり込み、観察会、ご来光後のお池巡り（室堂）、スライド映写会（南竜山荘）などを行っている。私は主に白山室堂での活動を10年余やって来た。「花の白山」といわれる白山に咲く多様な花をバックに、白山の火山・信仰の歴史などを交えて、高山植物の解説を行い、全国から登って来られた登山者に白山の良さを、大いに宣伝し、交流をしてきた。現在の会長は奥名正啓氏（本会15期）である。

今年2025年からは、室堂での活動が体力的につらくなったので、南竜山荘に場所を移して活動している。体力の続く限りは続けたいと思っている。

(3) 白山高山植物園解説員

今年2025年から、(2)が委託を受けている、白峰の西山にある「高山植物園」にて解説員ボランティアをやっている。同所は、白山の高山植物を保存保護するため、低地に順化して育て保護することを研究す

るところから始まり、現在では白山には登れないが、高山植物には興味があるという多くの方々から好評で、毎年多くの入園者が訪れている。最近では観光バスで来られる団体客もあり、対応に苦慮しているのを自然解説員研究会のメンバーが有志ボランティアで解説を行っている。ここには白山の高山植物がすべてあるのではないか、ニッコウキスゲやタカネマツムシソウ、カライトソウなどが、白山主峰を背景に、斜面に群生している光景は素晴らしい。自分も白山登山がしんどくなつた今となって初めてこの施設のありがたさが分かるようになり、そこでお手伝いできることを大変嬉しく思っている。

(4) その他

直接山とは関係ないが、畑をやっている関係で草刈りのために刈払機を常用している。その関係で草刈りに関係した下記のようなボランティアをやっている。

1) 石川県農村支援ボランティア(2008~)



県下の過疎地で人手不足となっている農村地域に向いて、主に草刈りの手伝いを行う。

県が支援しているもので、ネット募集に基づき、能登から加賀まで多くの地域にバスや自家用車で出向く、支援活動を行っている。多くの農村地域の状況を垣間見て話を聞くことができ、ずいぶんと勉強した。

2) 金沢大学キャンパス環境整備の会(2009~)

母校の金沢大学角間キャンパスは200haもあり広大である。建物や施設近くの敷地で主に刈払機による雑草駆除にかかるボランティアグループである。会創立から関り、現在に至っている。現在メンバーは主に金大OB 12名で、毎週1回、月4回、年6か月ほど活動をしている。メンバーは顔見知りで、週1の触れ合いの場にもなっている。



3) 仏子園ボランティア(2024~)

ある縁から、2024年より社会福祉法人「仏子園」のボランティアをやっている。最初は、その一組織である「B's 行善寺」(白山市)、現在は「Share 金沢」(金沢市)で主に草刈り活動をしている。この法人は「ごちやまぜ」という考え方に基づき、もともとは障碍者支援組織であったものが、それ以外に、一般人も含めた、高齢者、学生、子供たち、地域住民などなど、多くの人たちが「ごちやまぜ」に集まる施設を作り、相乗効果により、それぞれ単独の組織にはない、個人の改善が行われることを目指した施設組織である。

草刈り活動以外にも、今年は白山登山に関するスライド映写会や、「山野草園」創設も行っている。ここでは時間がゆったりと流れているように感じる。また、だれでもが働き、楽しみ、生活できる場を提供し、互いに助け合いながらそれぞれの生活を楽しんでいる感じがする。私もボランティアを通して、そのお手伝いをしているつもりである。

さいごに

他にも、能登地震にかかる県災害ボランティアなど、これまで多くのボランティア活動をやってきた。ボランティアはあくまで自分の意志で、なんとか役に立ちたいと願って、やりだすものである。したがって気持ちが自由で前向きになれる。あまり無責任は避けなければならないが、あくまで自主的な意思でやっているのであり、始めるのも止めるのも、自分次第である。その分、行動に爽やかさがある。皆様も、身体が元気なうちに、是非ボランティア活動を行って、その気分の爽やかさを味わってほしいと願うところである。

(2025. 10. 17)